

令和5年度 学校だより1月号から

年頭にあたって

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、本校の教育にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援の程、よろしくお願いいたします。

2024年は辰年ですが、どんな年にしようとお考えでしょう。一年の計は元旦にありといいますが、なかなか目標を立てることは難しいものです。

辰年は、本来の干支でいうと甲辰（きのえ・たつ）と言います。辰年であること以外にも込められた意味があります。もともと、「干支」とは「十干十二支(じっかんじゅうにし)」を略した言葉です。

十干(じっかん)や十二支は、数や方角だけでなく、それぞれ独自の意味を持っています。例えば十干の「甲」がもつのは、物事の始まりを表す他、まっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。東洋では辰=龍は神の使いであり、世を統べる権力の象徴です。昇り龍などに描かれるように、勢いよく活気あふれる年になるといわれています。水や海の神としてまつられてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2つの組み合わせである甲辰年には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表していると言われているそうです。甲辰には、長い歴史の中でも努力した成果が実を結ぶような出来事が多く起こっています。これらは、甲辰年の「成功の芽が成長し、姿を整えていく」という傾向の表れかもしれません。

コロナ禍を脱して迎える2024年。新たな目標をもって、何かにチャレンジするのに最適な甲辰です。子どもたちには、失敗を恐れず前向きな気持ちで、たくさんのことにチャレンジしてもらいたいです。

(栗原 憲一)

サイバー教室

12月18日(月)に青葉警察署スクールサポーターと青葉少年補導員の方をお迎えし、4～6年生を対象にサイバー教室を実施しました。身近にあるインターネット環境の中、タブレットやスマートフォンなどの安全で正しい使い道を考えました。何気なくSNSにあげた写真から個人が特定されることがあったり、同性の同い年とメッセージをやり取りしていると思っていたら成年男性だったということがあったりすることを実際の事例をもとに教えていただきました。便利さや手軽さの一方で危険とも隣り合わせであることを知った上でどのように使うかを考えていくことが大事だと思います。家庭では、「ペアレンタルコントロール(保護者による管理)」が不可欠です。スマートフォンなどを「持たせる安心」もありますが「持たせる危険」もあります。親子で定期的に話し合う機会をもち、「正しい使い道」ができているか確かめましょう。

きらめきスマイルコンサート

今年度は、たくさんの人々が体育館に集まり、きらめきスマイルコンサートを開催することができました。オープニングに素晴らしいハーモニーを奏でて下さったマンマアルモニコは、荇子田小学校のPTAコーラスとして2005年に産声をあげ、毎年意欲的に活動なさっている合唱団です。子ども達からは「白菜ギンギシ楽しかった!」「優しい歌声に感動しました。」との声が聞かれました。

発表学年は1, 4, 6年生です。2, 3, 5年生は前日のリハーサルを参観しました。各学年の演奏の様子に感動したり来年は自分たちがやるんだという見通しをもったりすることができました。また発表学年はリハーサ

ルを観てもらふことで、当日に向けて気持ちを高めることができましたようです。

1年生は、「くじらぐも」の音楽劇を、伸び伸びと可愛らしく歌いました。プロジェクターで映像を流したり、手作りの大きなクジラ雲を登場させたりして演奏を盛り上げました。4年生の曲目は、リコーダー奏「もののけ姫から」、手拍子アンサンブル「パルマ」、合唱「どんなときも」でした。リコーダーの美しい音色、かっこいい手拍子、そして心温まる素直な歌声を響かせることができました。6年生はクラス合奏「君をのせて」「海に見える街」、学年合唱「旅立ちの時」を演奏しました。さすが最高学年！みんなの気持ちが一つになった、素晴らしい合奏と迫力のある歌声を披露しました。どの学年も、たくさんの保護者の方々に見守られながら、学習の成果を堂々と発表することができました。また座席の入れ替えにもご協力頂き、スムーズに会を進行することができました。ご多用の中足をお運び頂き、温かい拍手を子どもたちに送って下さり、本当にありがとうございました。

4年生 校外学習

以前、社会の学習では、技術員の大貫さんや山本さんからお話を聞いて学校のゴミがどのように回収され、分別されるのかを教えてくださいました。また、家庭からどれくらいの頻度でゴミが出るのかシートを使って分析しました。今回の社会科見学では、その後実際にどのように処理されていくのかを目と肌で学習する貴重な時間となりました。清掃工場では、クレーンの大きさと設備のすごさに圧倒され、工場の規模の大きさを実感することができました。昼食は、葛が谷公園です。木々を眺めながらご家庭で用意して頂いたお弁当を美味しそうに食べる姿が見られました。東芝未来科学館では、身近な機械のしくみをわかりやすく解説されていて、今後の地球ではどのように活用されるのかを知ることができました。何よりも、ゲーム感覚で学ぶことができたので子ども達も大喜びでした。グループ学習での班行動もお互いにコミュニケーションをとりながら上手に見学を進める事ができました。5年生になっても、引き続きめあてを意識しながら自分たちで前向きに行動する姿勢を大切にしていってほしいと思います。